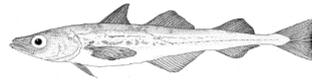


# 4.スケトウダラ

## 主な漁業と漁期

沖合底びき網：  
周年（自主休業期の2～3月  
中旬を除く）



## オホーツク海海域

### 生態

#### ◆分布・回遊

北海道のオホーツク海沿岸からサハリン北東沿岸までのオホーツク海南西部が主な分布域と考えられていますが、複数の系群が混在すると言われており、分布、移動、ならびに回遊経路については明らかにされていません。

#### ◆産卵期・産卵場

◎産卵期・産卵場については、不明です。

#### ◆成長・成熟

(5月時点)

	体長(cm)	体重(g)
2歳	24	117
3歳	29	212
4歳	34	336
5歳	38	476
6歳	40	547
7歳	43	704
8歳	47	819

\*) 2013～2017年の漁獲物より  
\*) 加齢の基準日：4月1日

#### ◎成熟年齢

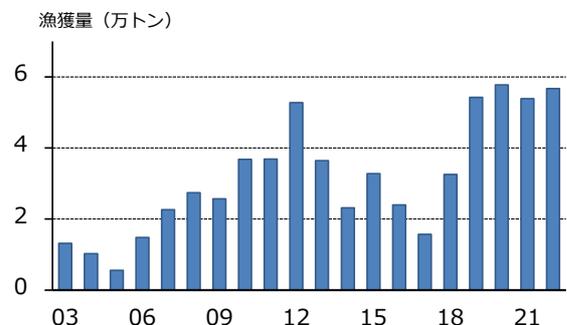
オス：4歳以上、尾叉長39cm以上で半数以上が成熟します。  
メス：4歳以上、尾叉長41cm以上で半数以上が成熟します。

### 資源評価

[評価年] 4月～翌3月

[来遊水準の指標] かけまわしCPUE

本海域における2022年度の漁獲量は56,725トンで前年からやや増加し、引続き高水準と判断されました。当資源はオホーツク海南西部に広く分布しており、北海道に来遊するのはその一部に限られると想定されることから、来年度に向けての動向は不明です。



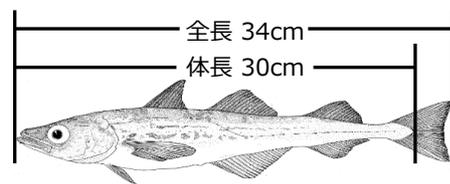
2022年度 の水準		2023年度 の動向	
	高水準		不明 (またがり)

※道総研が受託している国の資源評価調査のデータも利用して評価しています。

### 資源の維持・増大のために！

#### 資源管理の現状(主なもの)

- TAC（漁獲可能量）管理  
2023年度漁期のTACは、大臣管理分57.4千トン、北海道知事管理分は現行水準です。（2023年11月現在）
- 資源管理協定（2019年3月更新）  
関係漁業者間で体長30cm又は全長34cm未満の未成魚保護を目的とする漁場移動等を定めています。



☆資源の有効利用のため、現状の取り組みの継続が必要です。

問い合わせ先

北海道水産林務部水産局漁業管理課資源管理係  
北海道立総合研究機構 網走水産試験場調査研究部

電話 011-204-5477  
電話 0152-43-4592